

地方独立行政法人神戸市民病院機構第3期中期計画

目次

前文

第1 中期計画の期間

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 本市の基幹病院・中核病院としての役割を踏まえた医療の提供
- 2 中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供
- 3 西市民病院の役割を踏まえた医療の提供
- 4 西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供
- 5 神戸アイセンター病院の役割を踏まえた医療の提供
- 6 共通の役割

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 優れた専門職の確保と人材育成
- 2 効率的な業務運営体制の構築

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 経営改善の取組みと経常収支目標の達成
- 2 経営基盤の強化

第5 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画

第6 短期借入金の限度額

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

第8 剰余金の使途

第9 料金に関する事項

第10 地方独立行政法人神戸市民病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

前文

地方独立行政法人神戸市民病院機構（以下「市民病院機構」という。）は、市民の生命と健康を守るという基本理念のもと、神戸市立医療センター中央市民病院（以下「中央市民病院」という。）及び神戸市立医療センター西市民病院（以

下「西市民病院」という。)の2病院を平成21年度から運営し、さらに平成29年度からは神戸市立西神戸医療センター(以下「西神戸医療センター」という。)及び神戸市立神戸アイセンター病院(以下「神戸アイセンター病院」という。)の2病院を加えた4病院体制となり、公的役割を果たしてきた。

この間、医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩等により大きく変化している。今後も、国における2025年を見据えた対応を踏まえるとともに、急速な高齢化や人口動態等の社会情勢、医療技術の高度化など、医療を取り巻く環境の変化に対して柔軟に対応し、公立病院としての役割を引き続き果たしていくことが求められている。

こうした背景を踏まえ、市の医療政策を担うべき公立病院として、質の高い標準医療をはじめ、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療並びに市内の医療機関では対応が困難な高度医療及び不足している専門医療など(以下これらを「政策的医療」という。)を含めた医療を、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、安定的に提供し、市民病院としての役割を果たしていく。また、医療、介護、福祉等の様々なサービスが、切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現へ向けて、地域完結型医療を推進するなど、医療計画と地域医療構想を踏まえた医療機能の構築・連携等を進め、質の高い医療を提供していく。その際、医療安全対策を徹底し、安心・安全な医療の提供を行うとともに、患者の立場を考えたきめ細やかなサービスの提供や幅広い情報発信に努め、市民とともに魅力的な病院づくりに取り組んでいく。

経営面では、4病院体制における効率的な病院運営を実施する。加えて、社会情勢や医療を取り巻く様々な環境の変化に柔軟に対応しつつ、安定的な経営基盤を維持し、長期的視点に立った安定的かつ質の高い経営を行う。

これらについて、引き続き市民の生命と健康を守るという市民病院の基本理念を継承し、ここに定める中期計画の実現に向け、市民病院機構としてのガバナンス(組織を統治する機能や能力)を発揮し、職員一丸となって取り組むことで市民病院としての公的使命を果たしていくものとする。

第1 中期計画の期間

平成31年4月1日から5年間とする。

中期計画の期間内であっても、社会情勢や医療を取り巻く様々な環境の大きな変化があった場合、検証を行う。

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 本市の基幹病院・中核病院としての役割を踏まえた医療の提供

(1) 救急医療・災害医療

- ・地域医療機関と密接に連携しながら、引き続き安定した救急医療体制を構築し、各病院の機能と役割に応じた救急医療を確実に提供する。

(中央市民病院)

- ・日本屈指の救命救急センターとして、病院全職員が一丸となって多職種が連携した救急医療を行い、あらゆる救急疾患から市民の生命を守る。
- ・地域医療機関との役割分担を明確にした上で密接に連携し、よりスムーズな受入れのため、疾患に応じたホットラインを活用するなど、一刻を争う重症及び重篤な患者に対して年間を通じて24時間救急医療を提供する。
- ・救急医療に携わる人材の育成を更に推進し、地域における救急医療向上への役割を果たす。

(西市民病院)

- ・年間を通じて24時間体制で救急医療を提供し、地域住民の安心及び安全を守る。
- ・医師をはじめとする全職種が救急医療の重要性を認識し、地域医療支援病院の役割として実践することで、救急車搬送応需率及び受入れ件数を高い水準で維持する。また、市や地域の関係機関と連携し、地域全体の救急医療の充実を目指す。

(西神戸医療センター)

- ・地域医療機関と連携し、引き続き年間を通じて24時間体制の安定した救急医療体制を提供することで、地域住民の安心及び安全を守る。
- ・西神戸医療センターの位置する地域特性を踏まえ、地域の中核病院として、重症・重篤な救急患者に対しても、救急隊との連携を密にし、より

迅速な救命措置を行える体制の維持・向上に努める。

- ・全職員への救急車受入れの方針徹底と促進策の実施による救急車受入れ件数の増加に努める。

(共通項目)

- ・阪神・淡路大震災及び東日本大震災等の経験を生かし、大規模災害発生時等には、中央市民病院は災害拠点病院として、西市民病院及び西神戸医療センターは災害対応病院としてそれぞれの役割を果たし、市、県及び地域医療機関と連携を図りながら市民の安全確保に率先して取り組む。
- ・非常時にも継続して医療を提供できるように平時からBCP（事業継続計画）の考え方を踏まえた防災・災害対応マニュアルを改訂するとともに、積極的に訓練及び研修に取り組み、危機対応能力を高め、自ら考え行動できる職員を育成する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	救急外来患者数（人）	35,244
	うち入院（人）	8,130
	うち救急車受入れ（人）	10,532
	救急車搬送応需率（%）	99.1
	災害訓練回数（回）	28
	災害訓練参加者数（人）	1,300
	災害研修回数（回）	6
西市民病院	被災地等への派遣件数（件）	0
	救急外来患者数（人）	13,967
	うち入院（人）	3,060
	うち救急車受入れ（人）	2,857
	救急車搬送応需率（%）	63.1
	災害訓練回数（回）	42
	災害訓練参加者数（人）	738
西神戸医療センター	災害研修回数（回）	2
	被災地等への派遣件数（件）	0
	救急外来患者数（人）	24,650

	うち入院（人）	3,405
	うち救急車受入れ（人）	3,559
	救急車搬送応需率（%）	70.3
	災害訓練回数（回）	37
	災害訓練参加者数（人）	562
	災害研修回数（回）	0
	被災地等への派遣件数（件）	0

(2) 小児・周産期医療

- ・地域医療機関との連携及び役割分担のもと、市民が安心して子供を産み、かつ、育てられるように、質の高い小児・周産期医療を安定的に提供する。
- ・次世代を担う子ども達が健やかな成長・発達を遂げられるように医療の面から支援する。

(中央市民病院)

- ・総合周産期母子医療センターとして、県立こども病院等との連携及び役割分担のもと、切迫早産、異常妊娠・分娩などの産科合併症のほか、合併症妊娠（心血管疾患、免疫血液疾患、腎疾患、感染症、精神疾患等）といった、母子にとってハイリスクとなるあらゆる出産に対し、専門各科と連携して、小児・周産期医療を安定的に提供する。

(西市民病院)

- ・市街地西部（兵庫区、長田区及び須磨区）における周産期医療施設として、正常分娩を中心とした質の高い周産期医療を安定的に提供するとともに、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩等への対応も含めた役割を継続する。
- ・小児二次救急体制を継続し、小児救急医療の安定的な提供に努める。
- ・急性期疾患を中心に、地域の医療機関では困難な小児疾患に対応する。

(西神戸医療センター)

- ・神戸西地域（須磨区、垂水区及び西区）の中核病院として、小児救急においては、引き続き二次救急体制に参加するとともに、全日準夜帯（17時～24時）の救急受入れを安定的に継続する。

- ・地域の医療機関と連携し、幅広い小児疾患に対応する。
- ・地域医療機関との連携及び役割分担に基づき、地域医療機関での対応が困難なハイリスクな妊婦や救急時の受入れをはじめ、地域の需要に対応し安定した周産期医療を提供することで、妊娠から出産、子どもの成長まで総合的に対応する地域周産期母子医療センターと同等の機能を果たす。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	小児科患者数 入院延（人）	12,347
	外来延（人）	13,568
	小児科救急患者数（人）	1,891
	うち入院（人）	874
	N I C U患者数（人）	3,056
	分娩件数（件）	763
	うち帝王切開（件）	264
西市民病院	ハイリスク妊娠件数（件）	98
	ハイリスク分娩件数（件）	95
	助産師外来患者数（人）	224
	小児科患者数 入院延（人）	3,571
	外来延（人）	7,635
	小児科救急患者数（人）	482
	うち入院（人）	210
西神戸医療センター	N I C U患者数（人）	-
	分娩件数（件）	440
	うち帝王切開（件）	76
	ハイリスク妊娠件数（件）	47
	ハイリスク分娩件数（件）	59
	助産師外来患者数（人）	419
	小児科患者数 入院延（人）	8,952
外来延（人）	19,375	
西神戸医療センター	小児科救急患者数（人）	6,529
	うち入院（人）	713
	N I C U患者数（人）	-
	分娩件数（件）	693

	うち帝王切開（件）	259
	ハイリスク妊娠件数（件）	93
	ハイリスク分娩件数（件）	102
	助産師外来患者数（人）	149

(3) 5 疾病に対する専門医療の提供

- ・ 地域医療機関との役割分担及び連携を明確にしたうえで、各病院が有する医療機能に応じ、本市の基幹病院・中核病院として求められている高度な専門医療を提供する使命を果たす。
- ・ 疾病構造の変化や高度に進化した治療法に対応するため、各専門職がそれぞれの専門性を発揮するとともに緊密に連携し、診療科の枠を超えた質の高い総合的な診療を充実させる。

(中央市民病院)

- ・ がん治療については、メディカルクラスター（神戸医療産業都市に集積する高度専門病院群）と連携し、患者のQOL（Quality of Life, 生活の質）向上のため、より身体の負担が少ない治療や検査の充実に取り組む。
- ・ 地域がん診療連携拠点病院としての体制強化を図るほか、手術支援ロボットの活用、大学等と連携したがんゲノム医療などの高度医療に積極的に取り組む。
- ・ 一刻を争う脳卒中や急性心筋梗塞をはじめ、脳血管障害や心血管疾患などの疾患においては、内科系医師、外科系医師、看護師及びコメディカル等がチームを組み、迅速かつ最適な医療を提供する体制を堅持する。また、糖尿病については関連診療科や神戸アイセンター病院との連携を図り、総合的な糖尿病教育・治療を行う。
- ・ 精神疾患については、精神科身体合併症病棟を活用し、様々な患者の状態に応じた治療を行うとともに救命救急医療の更なる充実を目指す。

(西市民病院)

- ・ がん治療については、患者の負担が少ない手術支援ロボットによる手術をはじめとした高水準の治療を積極的に行うとともに、化学療法の実施

や他の医療機関との連携による放射線治療の充実を図る等，専門的ながん診療機能を有する医療機関としての役割を発揮する。

- ・糖尿病については，教育入院や糖尿病教室を引き続き行うとともに，糖尿病地域連携パスの利用を促進する等，生活習慣病医療を強化する。また，糖尿病合併症については，院内の関係診療科との連携を図りながら取り組む。

(西神戸医療センター)

- ・がん治療については，地域がん診療連携拠点病院として，がん治療の専門性を最大限に活かし，多職種スタッフの力を結集し，地域医療機関とともに患者・家族が安心して生活できる診療連携体制を整備・構築する。
- ・PET-CT（陽電子放出断層撮影とコンピューター断層撮影を組み合わせた高度な画像診断装置）の活用によりがん診断機能を向上させるとともに，低侵襲な手術や化学療法，放射線治療を組み合わせた集学的な治療の実施及びがん相談支援センターを中心とする患者支援に取り組む。
- ・市民が適切な医療を身近な地域で受けられるよう，手術支援ロボットや血管造影撮影装置等の高度医療機器を活用し，内視鏡治療や血管内治療等の患者に負担の少ない低侵襲な高度専門医療を提供する。また，急性期の脳卒中症例など緊急を要する症例に対し，迅速かつ適切な医療を行う。

関連指標

病院名	項目	平成29年度 実績
中央市民病院	がん退院患者数(人)	4,645
	脳卒中退院患者数(人)	1,253
	急性心筋梗塞退院患者数(人)	137
	糖尿病退院患者数(人)	160
	身体合併症受入れ延患者数(人)	2,153
	認知症鑑別診断数(人)	124
	検査人数(CT)(人)	52,034

	検査人数（MRI）（人）	19,428
	検査人数（PET）（人）	3,106
	検査人数（心臓血管造影）（人）	1,081
	検査人数（脳血管造影）（人）	813
	がん患者化学療法数（人）	11,156
	手術件数（入院・外来合計）（件）	12,500
	薬剤管理指導件数（件）	25,694
	栄養指導件数（合計）（件）	4,099
	リハビリ実施件数（合計）（件）	134,161
	口腔ケア実施件数（件）	2,606
	西市民病院	がん退院患者数（人）
脳卒中退院患者数（人）		47
急性心筋梗塞退院患者数（人）		12
糖尿病退院患者数（人）		112
身体合併症受入れ延患者数（人）		160
認知症鑑別診断数（人）		64
検査人数（CT）（人）		15,919
検査人数（MRI）（人）		4,422
検査人数（PET）（人）		-
検査人数（心臓血管造影）（人）		166
検査人数（脳血管造影）（人）		-
がん患者化学療法数（人）		2,205
手術件数（入院・外来合計）（件）		2,930
薬剤管理指導件数（件）		13,288
栄養指導件数（合計）（件）		2,167
リハビリ実施件数（合計）（件）		37,388
口腔ケア実施件数（件）	2,400	
西神戸医療センター	がん退院患者数（人）	2,921
	脳卒中退院患者数（人）	307

	急性心筋梗塞退院患者数(人)	47
	糖尿病退院患者数(人)	132
	身体合併症受入れ延患者数(人)	31
	認知症鑑別診断数(人)	-
	検査人数 (CT) (人)	22,547
	検査人数 (MRI) (人)	10,601
	検査人数 (PET) (人)	184
	検査人数 (心臓血管造影) (人)	628
	検査人数 (脳血管造影) (人)	167
	がん患者化学療法数(人)	6,482
	手術件数 (入院・外来合計) (件)	6,088
	薬剤管理指導件数(件)	20,809
	栄養指導件数 (合計) (件)	2,203
	リハビリ実施件数 (合計) (件)	58,290
	口腔ケア実施件数(件)	81

(4) 地域包括ケアシステム推進への貢献

- ・地域医療支援病院として地域医療機関との連携をより一層推進するため、地域医療機関のニーズを把握し、各病院の役割に応じた患者の紹介・逆紹介や医療機器の共同利用を行う。
- ・患者が安心して地域で療養できるように、地域の在宅診療医や介護施設、訪問看護ステーション等との多職種での連携を強化するなど、市の地域包括ケアシステム推進における市民病院としての役割を果たす。
- ・オープンカンファレンス等を積極的に開催し、地域の医療従事者の育成に努める。

(中央市民病院)

- ・地域包括ケアシステム構築に貢献するため、ケアマネジャー、在宅介護支援事業者、福祉施設等と顔の見える連携を実施するとともに、地域の医師、訪問看護師等との退院前カンファレンスを積極的に実施する。
- ・患者が安心して地域で療養できるように、入院初期から積極的に退院支

援を行うなど、患者の状況に応じた支援を行う。特に、在宅復帰を目指す患者が在宅へ円滑に移行できるよう、回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟を設けている病院と連携を強化する。

(西市民病院)

- ・市民や地域の医療機関から信頼される病院であり続けるため、各診療科の医師と地域医療機関の医師との顔の見える連携を図り、紹介・逆紹介をさらに推進し、地域医療支援病院の役割を堅持する。
- ・地域の訪問看護ステーションや医療、介護、福祉等の関係機関との後方支援機能を充実させる等、在宅支援を中心とした地域社会との連携を図り、入院医療から在宅医療への移行機能を強化する。
- ・地域の歯科診療所で診察を受けることが困難な方々に、こうべ市歯科センターと連携し、安全で安心な歯科医療サービスを提供する。

(西神戸医療センター)

- ・地域医療支援病院として、神戸西地域の地域完結型医療を推進する。
- ・開院当初より開催している医師会や歯科医師会と組織する協議会や地域医師会との合同カンファレンスを実施する。医師による地域医療機関への訪問等により信頼関係を更に深め、紹介・逆紹介の推進、円滑な転院調整等を行い、地域医療機関との役割分担を積極的に進める。
- ・神戸西地域の医療介護サポートセンターが主催する会議や研修会へ参加し、在宅医療・介護資源の把握や課題等を共有することで切れ目のない連携に取り組み、在宅医療への円滑な移行に努める。

目標値

(単位：%)

病院名	項目	平成29年度実績	目標値※
中央市民病院	紹介率	64.8	66.0以上
	逆紹介率	123.2	120.0以上
西市民病院	紹介率	53.4	54.0以上
	逆紹介率	104.8	100.0以上
西神戸医療センター	紹介率	70.9	70.0以上
	逆紹介率	77.5	75.0以上

※期間中各年度で達成を目指す。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	地域連携パス適用患者数(人)	303
	地域医療機関向け広報誌発行回数(回)	4
	オープンカンファレンス開催回数(回)	59
	オープンカンファレンス院外参加人数(人)	2,244
	退院調整実施件数(件)	1,491
	ケアマネジャーとのカンファレンス件数(件)	244
西市民病院	地域連携パス適用患者数(人)	60
	地域医療機関向け広報誌発行回数(回)	12
	オープンカンファレンス開催回数(回)	35
	オープンカンファレンス院外参加人数(人)	1,021
	退院調整実施件数(件)	1,812
	ケアマネジャーとのカンファレンス件数(件)	427
西神戸医療センター	地域連携パス適用患者数(人)	178
	地域医療機関向け広報誌発行回数(回)	13
	オープンカンファレンス開催回数(回)	99
	オープンカンファレンス院外参加人数(人)	1,765
	退院調整実施件数(件)	3,805
	ケアマネジャーとのカンファレンス件数(件)	571

2 中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供

(1) 日本屈指の救命救急センターとしての役割の発揮

- ・日本屈指の救命救急センターとして、病院全職員が一丸となって多職種が連携した救急医療を行い、あらゆる救急疾患から市民の生命を守る。
- ・地域医療機関との役割分担を明確にした上で密接に連携し、よりスムーズな受入れのため、疾患に応じたホットラインを活用するなど、一刻を争う重症及び重篤な患者に対して年間を通じて24時間救急医療を提供する。

- ・救急医療に携わる人材の育成を更に推進し、地域における救急医療向上への役割を果たす。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	救急外来患者数(人)	35,244
	うち入院(人)	8,130
	うち救急車受入れ(人)	10,532
	救急車搬送応需率(%)	99.1

(2) メディカルクラスターとの連携による先進的ながん治療等の提供

- ・グローバルな視点を持ちながら、メディカルクラスターとの連携を推進する。
- ・疾患、診療内容の変化や医療需要と供給のバランスに応じて市民に最新最良の医療の提供を目指すとともに、患者のQOL向上のため、より身体への負担が少ない治療や検査の充実に取り組む。
- ・地域がん診療連携拠点病院としての体制強化を図るほか、手術支援ロボットの活用、大学等と連携したがんゲノム医療などの高度医療に積極的に取り組む。
- ・今後の医療の動向を踏まえ、周辺の先端医療技術の研究拠点等との連携に努めるとともに、市民の健康増進に向けた取組みに協力する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
	検査人数(PET)(人)	3,106
	がん退院患者数(人)	4,645
中央市民病院	がん患者化学療法数(人)	11,156
	がん患者放射線治療数(人)	11,273
	緩和ケア外来延患者数(人)	1,788
	がん患者相談受付件数(件)	983
	周辺病院からの紹介件数(件)	716
	周辺病院への逆紹介件数(件)	1,718

(3) 神戸医療産業都市の中核機関として治験・臨床研究の更なる推進

- ・神戸医療産業都市の中核機関として治験・臨床研究を積極的に推進し、生命の維持と生活の質の向上につながる新たな医療を創造することで、市民の健康の増進と医療の発展に貢献するため、臨床研究中核病院を目指す。
- ・医薬品医療機器等の治験を含む臨床研究を適切に実施するため、法令や指針に則り、円滑かつ安全に研究を遂行できるよう、管理体制及び支援体制を構築する。なお、実施に際しては、患者の自由意思によるインフォームド・コンセント（患者が自ら受ける医療の内容に納得し、及び自分に合った治療法を選択できるよう、患者への分かりやすい説明を行った上で同意を得ること）を得るとともに、人権の保護、安全性の確保、倫理的配慮等を必ず行う。

関連指標

(単位：件)

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	治験実施件数	175
	受託研究件数	199
	臨床研究件数	261
	医師主導治験実施件数	6
	うち研究責任者としての実施件数	1
	特定臨床研究 [※] 実施件数	-
	うち研究責任者としての実施件数	-
	論文掲載件数	363
	学会発表件数	737
	研究計画相談件数	90
英語論文校閲相談	166	
データ入力実績	14,791	

※ 厚生労働省令で定める基準に従って行う臨床研究

(4) 県立こども病院等と連携した高度な小児・周産期医療の提供

- ・総合周産期母子医療センターとして、県立こども病院等との連携及び役割分担のもと、切迫早産、異常妊娠・分娩などの産科合併症のほか、合併症妊娠（心血管疾患、免疫血液疾患、腎疾患、感染症、精神疾患等）

といった、母子にとってハイリスクとなるあらゆる出産に対し、専門各科と連携して、小児・周産期医療を安定的に提供する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	小児科患者数 入院延(人)	12,347
	外来延(人)	13,568
	小児科救急患者数(人)	1,891
	うち入院(人)	874
	N I C U患者数(人)	3,056
	分娩件数(件)	763
	うち帝王切開(件)	264
	ハイリスク妊娠件数(件)	98
	ハイリスク分娩件数(件)	95
	助産師外来患者数(人)	224

(5) 第一種感染症指定医療機関としての役割の発揮

- ・新興感染症発生時においては、新型インフルエンザ患者の受入経験を生かし、市内唯一の第一種感染症指定医療機関として、市、県及び地域医療機関と連携を図りながら、速やかに患者を受け入れられる体制を整備し、市民の安全を確保する。
- ・非常時にも継続して医療を提供できるよう、平時から「新型インフルエンザ等発生における診療継続計画」等、マニュアルの整備と訓練を行うとともに、研修会への参加等に積極的に取り組み、危機対応能力を高め、自ら考え行動できる職員を育成する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	感染症延患者数(一類)(人)	0
	感染症延患者数(二類)(人)	64
	感染管理研修等実施回数(回)	57

3 西市民病院の役割を踏まえた医療の提供

(1) 地域の患者を24時間受け入れる救急医療の提供

- ・年間を通じて24時間体制で救急医療を提供し、地域住民の安心及び安全

を守る。

- ・ 医師をはじめとする全職種が救急医療の重要性を認識し，地域医療支援病院としての役割として実践することで，救急車搬送応需率及び受入れ件数を高い水準で維持する。また，市や地域の関係機関と連携し，地域全体の救急医療の充実を目指す。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西市民病院	救急外来患者数(人)	13,967
	うち入院(人)	3,060
	うち救急車受入れ(人)	2,857
	救急車搬送応需率(%)	63.1

(2) 地域のハイリスク出産に対応できる周産期医療の提供

- ・ 市街地西部における周産期医療施設として，正常分娩を中心とした質の高い周産期医療を安定的に提供するとともに，ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩等への対応も含めた役割を継続する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西市民病院	分娩件数(件)	440
	うち帝王切開(件)	76
	ハイリスク妊娠件数(件)	47
	ハイリスク分娩件数(件)	59
	助産師外来患者数(人)	419

(3) 地域需要に対応した小児医療の提供

- ・ 市街地西部の中核病院として，小児二次救急体制を継続し，小児救急医療の安定的な提供に努める。
- ・ 急性期疾患を中心に，地域の医療機関では困難な小児疾患に対応する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西市民病院	小児科患者数 入院延(人)	3,571
	外来延(人)	7,635
	小児科救急患者数(人)	482
	うち入院(人)	210

	小児アレルギー教室開催回数(回)	9
--	------------------	---

(4) 認知症患者に対する専門医療の提供

- ・認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に対する鑑別診断等を実施し、認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる体制の構築を図る。
- ・市の施策である「認知症の人にやさしいまちづくり」の推進に協力するとともに、地域の医療機関と協力しながら、長田区認知症多職種連携研究会をはじめ院内外の交流会、研修会を開催するなど、認知症疾患に携わる医療、介護等の多職種の連携を強化する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西市民病院	認知症鑑別診断数(件)	64
	専門医療相談件数(件)	-
	研修等の実施回数(回)	-
	認知症ケア件数(件)	6,214

(5) 生活習慣病患者の重症化予防に向けた取組み

- ・市の施策と連携し、生活習慣病患者に対する重症化予防に向けた取組みに加え、疾患の早期発見・早期治療に向けた取組みを行う。
- ・患者のみならず広く市民を対象とした公開講座や禁煙教室、糖尿病教室など各種教室等の充実を図り、全ての市民の健康向上のため、市とともに健康づくり施策に取り組む。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西市民病院	成人病関連教室等開催件数(件)	33
	糖尿病地域連携パス連携診療所数(箇所)	93
	糖尿病地域連携パス連携症例数(例)	484

4 西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供

(1) 地域の医療機関と連携した24時間体制での救急医療の提供

- ・地域医療機関と連携し、引き続き年間を通じて24時間体制の安定した救

急医療体制を提供することで、地域住民の安心及び安全を守る。

- ・西神戸医療センターの位置する地域特性を踏まえ、地域の中核病院として、重症・重篤な救急患者に対しても、救急隊との連携を密にし、より迅速な救命措置を行える体制の維持・向上に努める。
- ・全職員への救急車受入れの方針徹底と促進策の実施による救急車受入れ件数の増加に努める。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西神戸医療センター	救急外来患者数(人)	24,650
	うち入院(人)	3,405
	うち救急車受入れ(人)	3,559
	救急車搬送応需率(%)	70.3

(2) 地域における小児救急・小児医療の拠点機能の提供

- ・神戸西地域の中核病院として、小児救急においては、引き続き二次救急体制に参加するとともに、全日準夜帯（17時～24時）の救急受入れを安定的に継続する。
- ・地域の医療機関と連携し、幅広い小児疾患に対応する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西神戸医療センター	小児科患者数 入院延(人)	8,952
	外来延(人)	19,375
	小児科救急患者数(人)	6,529
	うち入院(人)	713

(3) 地域周産期母子医療センター機能の提供

- ・地域医療機関との連携及び役割分担に基づき、地域医療機関での対応が困難なハイリスクな妊婦や救急時の受入れをはじめ、地域の需要に対応し安定した周産期医療を提供することで、妊娠から出産、子どもの成長まで総合的に対応する地域周産期母子医療センターと同等の機能を果たす。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
-----	----	----------

西神戸医療センター	分娩件数(件)	693
	うち帝王切開(件)	259
	ハイリスク妊娠件数(件)	93
	ハイリスク分娩件数(件)	102
	助産師外来患者数(人)	149
	低出生体重児数(人)	100

(4) 幅広いがん患者への支援と集学的治療の提供

- ・地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の専門性を最大限に活かし、多職種のスタッフの力を結集し、地域医療機関とともに患者・家族が安心して生活できる診療連携体制を整備・構築する。
- ・PET-CTの活用によりがん診断機能を向上させるとともに、低侵襲な手術や化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的な治療の実施及びがん相談支援センターを中心とする患者支援に取り組む。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西神戸医療センター	検査人数(PET)(人)	184
	がん退院患者数(人)	2,921
	がん患者化学療法数(人)	6,482
	がん患者放射線治療数(人)	9,791
	緩和ケア外来延患者数(人)	2,085
	がん患者相談受付件数(件)	917

(5) 結核医療の中核機能の提供

- ・市内唯一の結核病床を有する病院として、結核患者の専用病棟、結核患者にも対応できる手術室などの設備を活用し、引き続き総合的な結核医療を提供する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西神戸医療センター	延患者数・入院(結核)(人)	11,115
	延患者数・外来(結核)(人)	314
	新規患者数・入院(結核)(人)	157

	新規患者数・外来(結核)(人)	128
	結核病床利用率(%)	60.9

5 神戸アイセンター病院の役割を踏まえた医療の提供

(1) 標準医療から最先端の高度な眼科医療まで質の高い医療の提供

- ・地域医療機関との連携や機能分担を推進するとともに、隣接する中央市民病院との連携を行い、安全で質の高い標準医療を提供する。
- ・全身的な症状にも関連する眼の疾患に関して、市民病院や地域医療機関と連携して対応する。
- ・フェムトセカンドレーザーを用いた高機能眼内レンズ挿入術などの先進医療や再生医療分野など、より高度で専門性を必要とする眼疾患に対応するとともに、臨床研究及び治験を推進することで次世代医療の開発を進め、その成果を世界に発信していく。

目標値

(単位：人／日)

病院名	項目	平成29年度実績	目標値*
神戸アイセンター病院	紹介患者数	10.7	9.4以上
	逆紹介患者数	7.4	7.6以上

※紹介患者数、逆紹介患者数は平成31年度目標値

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
神戸アイセンター病院	手術件数(入院・外来合計)(件)	745
	うち先進医療実施件数(件)	0
	硝子体注射件数(件)	581
	専門外来患者数(人)	5,728
	臨床懇話会・オープンカンファレンス院外参加者数(人)	114

(2) 治験・臨床研究を通じた次世代医療の開拓

- ・より有効で安全性の高い治療を目指し、国立研究開発法人理化学研究所(以下「理化学研究所」という。)等と緊密に協力して橋渡し研究を行い、眼疾患に係る臨床研究及び治験に積極的に取り組む。その際、患者の自由意思によるインフォームド・コンセントを徹底するとともに、人

権の保護，安全性の確保，倫理的配慮等を必ず行う。

- ・理化学研究所等と連携してiPS細胞治療や網膜色素上皮細胞移植，培養口腔粘膜上皮細胞シートによる眼表面再建治療などの新しい眼科治療や診断法の開発を推進し，神戸医療産業都市及び日本の眼科医療に貢献する。

関連指標

(単位：件)

病院名	項目	平成29年度実績
神戸アイセンター病院	治験実施件数	0
	受託研究件数	4
	臨床研究件数	14

(3) 視覚障害者支援施設等と連携した患者の日常生活支援

- ・視覚障害者支援施設等と緊密に連携してロービジョンケア（視覚に障害がある人に対する支援）を進めるとともに，地域包括ケアシステムの推進につながる，重篤な眼疾患から社会生活へ復帰を支援するワンストップセンター（研究，治療，リハビリ，社会復帰までを一貫して対応する施設）としての役割を果たす。
- ・眼科専門病院として，全部門が来院者の特徴に配慮したサービスを提供し，患者サービスの向上に向けた取組みを推進する。

関連指標

(単位：人)

病院名	項目	平成29年度実績
神戸アイセンター病院	ロービジョンケア実施セッション数	197

(4) 診療・臨床研究を担う未来の医療人材育成

- ・臨床，教育，研究それぞれに取り組み，日本の眼科の未来を担う人材の育成に取り組む。
- ・モチベーションの好循環となるよう，医師の業績に応じて研究費を配分する制度を構築・運用する。

関連指標

(単位：件)

病院名	項目	平成29年度実績
神戸アイセンター病院	論文掲載件数	12

	学会発表件数	9
--	--------	---

6 共通の役割

(1) 安全で質の高い医療を提供する体制の構築

- ・全職員が患者の安全を最優先に万全な対応を行うことができるように、医師及び看護師等からなる医療安全管理室を中心に、医療安全に関する情報の収集及び分析を行い、医療安全対策を徹底する。
- ・院内で発生したインシデント（医療の全過程のうちいずれかの過程において発生した、患者・医療従事者に被害を及ぼすことはなかったが注意を喚起すべき事例）及びアクシデント（医療の全過程のうちいずれかの過程において発生した、患者・医療従事者に傷害を及ぼした事例）についての報告を強化し、その内容を分析し、法人全体で共有することにより再発防止に取り組むなど、医療安全意識を醸成する。
- ・医療事故が発生した場合には、医療事故調査制度等に基づき適切な対応を取るとともに、公表指針に基づき公表し、信頼性と透明性を確保する。
- ・質の高い医療を提供するため、クリニカルパス（入院患者に対する治療の計画を示した日程表）、臨床評価指標（C I：クリニカルインディケーター）等を法人全体で共有し、相互に分析を行い、評価・活用する。
- ・病院機能評価の受審等、外部評価も積極的に活用し、医療の質向上を図る。

目標値

（単位：％）

病院名	項目	平成29年度実績	目標値*
中央市民病院	クリニカルパス 適用率	62.4	60.0以上
西市民病院		46.5	50.0以上
西神戸医療センター		62.8	60.0以上
神戸アイセンター病院		99.3	99.0以上

※期間中各年度で達成を目指す。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	医療安全研修等実施回数(回)	192

	インシデントレポート数(件)	5,224
	うち医師の報告割合(%)	7.4
	職員1人当たりのインシデントレポート数(件/人)	2.9
	アクシデントレポート数(件)	9(12)*
西市民病院	クリニカルパス種類(種類)	444
	医療安全研修等実施回数(回)	15
	インシデントレポート数(件)	1,674
	うち医師の報告割合(%)	3.9
	職員1人当たりのインシデントレポート数(件/人)	2.8
西神戸医療センター	アクシデントレポート数(件)	8
	クリニカルパス種類(種類)	217
	医療安全研修等実施回数(回)	589
	インシデントレポート数(件)	2,452
	うち医師の報告割合(%)	4.3
ター病院	職員1人当たりのインシデントレポート数(件/人)	3.0
	アクシデントレポート数(件)	6(17)*
	クリニカルパス種類(種類)	223
	医療安全研修等実施回数(回)	2
	インシデントレポート数(件)	104
ター病院	うち医師の報告割合(%)	13.5
	職員1人当たりのインシデントレポート数(件/人)	1.9
	アクシデントレポート数(件)	0
	クリニカルパス種類(種類)	40

※ () 書きは合併症(検査や治療に伴って、ある確率で不可避に生じる病気や症状)を含む。

(2) 患者の権利を尊重し、信頼と満足が得られる体制の構築

- ・「患者の権利章典」のもと、患者中心の医療を常に実践し、インフォームド・コンセントを徹底するとともに、患者自身が治療方針を適切に自己決定できるように支援する。
- ・市民病院の基本理念に基づき、常に患者やその家族の立場を考え、温か

く心のこもった対応ができるよう、職員の接遇能力の向上を図る。

- ・病院長のリーダーシップのもと、職種・部門横断的に連携し、必要な療養環境の改善や総合的な待ち時間対策及び国際化の更なる進展による多言語への対応等、だれもが利用しやすい病院づくりを行う。
- ・患者やその家族が院内で快適に過ごすことができるよう、定期的なアンケート調査や意見箱の設置等によりニーズを的確に把握し、院内で情報共有するとともに問題点の評価・改善を繰り返すことで、きめ細やかなサービスを提供する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績※
中央市民病院	患者満足度調査結果（入院）（％）	98.9
	患者満足度調査結果（外来）（％）	97.7
	患者対応研修等参加者数（人）	794
	医療通訳実施件数（件）	392
西市民病院	患者満足度調査結果（入院）（％）	94.2
	患者満足度調査結果（外来）（％）	94.2
	患者対応研修等参加者数（人）	52
	医療通訳実施件数（件）	353
西神戸医療センター	患者満足度調査結果（入院）（％）	95.0
	患者満足度調査結果（外来）（％）	93.0
	患者対応研修等参加者数（人）	93
	医療通訳実施件数（件）	9
神戸アイセンター病院	患者満足度調査結果（入院）（％）	96.4
	患者満足度調査結果（外来）（％）	92.6
	患者対応研修等参加者数（人）	0
	医療通訳実施件数（件）	11

※ 患者満足度調査結果は、「満足＋やや満足」の割合。

(3) 市民への情報発信

- ・各病院の役割や機能、特色、治療方針、地域医療機関との連携状況及び

経営状況について市民及び患者に広く知ってもらうため、広報誌やホームページを活用して、積極的に情報を発信する。

- ・市民の健康向上のため、最新の治療情報や日常生活の注意点等を公開講座、各種教室等を通じて発信し、市とともに健康づくり施策に取り組む。

関連指標

(単位：回)

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	各種教室等開催回数	93
	市民向け広報誌発行回数	4
	ホームページアクセス回数	2,704,874
西市民病院	各種教室等開催回数	33
	市民向け広報誌発行回数	3
	ホームページアクセス回数	127,592
西神戸医療センター	各種教室等開催回数	16
	市民向け広報誌発行回数	3
	ホームページアクセス回数	179,625
神戸アイセンター病院	各種教室等開催回数	-
	市民向け広報誌発行回数	0
	ホームページアクセス回数	28,902

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 優れた専門職の確保と人材育成

- ・職員一人ひとりがより良い将来の展望を持てるよう、働きがいのある職場環境を構築するとともに働き方の改革を推進し、優れた専門職の確保と人材育成に取り組む。
- ・女性の活躍できる労働環境の整備を推進するとともに、全職員がワークライフバランス（仕事と生活の調和）と自己研鑽^{さん}の両立が可能となるよう取り組む。特に医師については、国の動向も踏まえ、積極的に時間外勤務時間の削減に努める。

(1) 職員の能力向上等への取り組み

- ・市民病院職員としての使命感を持ち、高い専門性と協調性、豊かな人間

性を兼ね備えた医師，看護師，コメディカルスタッフ，事務職員等の確保・育成に継続して取り組む。

- ・すべての職員が必要な技能や知識を習得できるよう教育及び研修制度を充実し，4病院体制での人事交流やジョブローテーションの観点を踏まえ，指導者も含めた次世代医療を担う人材を育成する。特に病院経営や臨床研究に関する人材確保と育成に努める。

関連指標

(単位：人)

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	専門医数（延人数）	343
	認定医数（延人数）	220
	臨床教授等（延人数）	21
	研修指導医数（延人数）	137
	専門看護師数（合計）	13
	認定看護師数（合計）	33
	研究休職制度等利用者数	4
	資格取得支援制度利用者数	15
西市民病院	専門医数（延人数）	120
	認定医数（延人数）	85
	臨床教授等（延人数）	0
	研修指導医数（延人数）	16
	専門看護師数（合計）	5
	認定看護師数（合計）	9
	研究休職制度等利用者数	1
	資格取得支援制度利用者数	3
	専門医数（延人数）	156
	認定医数（延人数）	77
	臨床教授等（延人数）	7

西神戸医療センター	研修指導医数（延人数）	90
	専門看護師数（合計）	5
	認定看護師数（合計）	15
	研究休職制度等利用者数	1
	資格取得支援制度利用者数	8
神戸アイセンター病院	専門医数（延人数）	9
	認定医数（延人数）	8
	臨床教授等（延人数）	2
	研修指導医数（延人数）	5
	専門看護師数（合計）	-
	認定看護師数（合計）	-
	研究休職制度等利用者数	0
	資格取得支援制度利用者数	1

(2) 職員が意欲的に働くことのできる人事給与制度の構築

- ・全職員が意欲的に働くことができるよう、職員の能力や貢献度が各病院の特性に応じて適正に評価される人事給与制度を構築する。
- ・全職員が高いパフォーマンスを発揮できるよう、ICTの活用や柔軟な勤務制度の導入を検討する。また、ワークライフバランスの確保に向けた取組みを実施する。
- ・医師をはじめとする職員の負担軽減と医療の質の向上を両立させるため、業務の効率化を進めるとともに、業務の量や質に応じた適切な人員配置を行う。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	医師事務作業補助者の配置数(人)	95
	1人当たりの年次有給休暇消化数(日/人)	9.3
西市民病院	医師事務作業補助者の配置数(人)	21

	1人当たりの年次有給休暇消化数(日/人)	11.2
西神戸医療センター	医師事務作業補助者の配置数(人)	4
	1人当たりの年次有給休暇消化数(日/人)	9.1
神戸アイセンター病院	医師事務作業補助者の配置数(人)	10
	1人当たりの年次有給休暇消化数(日/人)	-
法人本部	医師事務作業補助者の配置数(人)	-
	1人当たりの年次有給休暇消化数(日/人)	8.1
法人全体	健康診断受診率(%)	100.0

(3) 人材育成等における地域貢献

- ・ 公的病院の使命である救急及び高度・急性期医療に加え，福祉との連携を踏まえた地域医療等を学ぶ場として，初期研修医及び専攻医のみならず，医学部生，看護学生，薬学部生をはじめとした，医療系学生及び地域医療を支える人材を積極的に受け入れる体制の充実等，地域における優秀な人材の育成と医療の質向上に貢献する。特に，新専門医制度への対応や，神戸市看護大学をはじめとした神戸市内の看護学生の受入れに努める。

関連指標

(単位：人)

病院名	項目	平成29年度実績	
中央市民病院	講師派遣数(延人数)	1,424	
	初期研修医数	41	
	専攻医数	107	
	学生実習等受入人数	(医学部・歯学部生)	986
		(看護学生)	3,705
		(薬学部生)	2,134
		(臨床検査)	189
		(診療放射線)	115
		(理学療法・作業療法・言語聴覚)	1,984
(臨床工学)		464	
(栄養管理)	110		
(視能訓練)	0		
西市民病院	講師派遣数(延人数)	130	

	初期研修医数		15
	専攻医数		26
	学 生 実 習 等 受 入 人 数	(医学部・歯学部生)	199
		(看護学生)	2,339
		(薬学部生)	1,010
		(臨床検査)	131
		(診療放射線)	-
		(理学療法・作業療法・言語聴覚)	56
(臨床工学)		110	
(栄養管理)	210		
(視能訓練)	0		
西神戸 医療センター	講師派遣数(延人数)		233
	初期研修医数		20
	専攻医数		26
	学 生 実 習 等 受 入 人 数	(医学部・歯学部生)	307
		(看護学生)	3,430
		(薬学部生)	667
		(臨床検査)	212
		(診療放射線)	180
(理学療法・作業療法・言語聴覚)		271	
(臨床工学)		72	
(栄養管理)	80		
(視能訓練)	255		
神戸 アイセンター病院	講師派遣数(延人数)		13
	初期研修医数		0
	専攻医数		2
	学生実習等受入れ人数(医学部・歯学部生)		10

2 効率的な業務運営体制の構築

(1) P D C Aサイクルが機能する仕組みの構築及び法令遵守(コンプライアンス)の徹底

- ・全職員が目標及び課題を共有し、各年度計画の進捗管理をP D C Aサイクル(計画、実行、評価及び改善の4段階を繰り返すことによって業務を継続的に改善すること)に基づき確実にを行うことにより、経営改善に取り組み、長期的視点に立った質の高い経営を進める。

- ・ 理事長のリーダーシップのもと、常任理事会、理事会が運営に関するチェック機能を働かせ、課題が発見された際は迅速な対応を行う。
- ・ 市民病院としての使命を適切に果たし、市民からの信頼を確保するために、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ市の条例が適用される個人情報保護や情報公開等も含めた関係法令の遵守の徹底と業務運営の透明化を推進する。
- ・ 臨床研究を含めた業務全般について内部監査を実施するとともに職場研修を定期的実施するなど、法令及び行動規範遵守の重要性を全職員が認識し、実践する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
法人全体	コンプライアンス研修等実施回数(回)	5
	コンプライアンス研修受講率(%)	98.3

(2) 市民病院間における情報連携体制の強化

- ・ 医療情報についてのシステム最適化に向けた検討や診療情報の相互閲覧など、4病院を連携していく取組みを推進するとともに、統括できる体制を強化する。
- ・ 高度化するサイバー攻撃等の情報セキュリティリスクに対し、これを回避、低減する技術的対策を講じるほか、定期的な人的訓練を職員に対して実施することにより安全性を高め、病院間の情報連携を推進する。
- ・ 各病院間の連携会議や研修会等を積極的に開催し、法人内の情報連携を促進する。

関連指標

(単位：回)

病院名	項目	平成29年実績
法人全体	情報セキュリティ訓練等実施回数	21

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 経営改善の取組みと経常収支目標の達成

- ・ 運営費負担金交付のもと、市民病院としての役割に応じた政策的医療を提供し、各病院が経営改善の取組みを進め、機動的かつ戦略的な病院経

営を行うことで、年度ごとの経常収支目標を達成する。

- ・効率的な病床運営，地域医療機関との連携推進等による新規患者の確保，診療機能の強化等により医業収益を確保するとともに経費削減に努め，法人全体で収支を均衡させるよう取り組む。
- ・平成29年度実績及び平成30年度上期実績等を踏まえて，目標値を設定した。

(1) 中央市民病院

- ・南館の更なる活用に向けて，本館との一体的な病床運営や手術部門，外来部門，救急部門など各部門の診療機能の強化に取り組むとともに，新たな診療報酬加算の検討等，医業収益の増収を図る。
- ・材料費の削減，効率的・効果的な業務執行など，費用の削減に努め，職員一丸となって経営改善を行う。

目標値

病院名	項目	平成29年度実績	目標値 ^{※3}
中央市民病院	医業収支比率(%) ^{※1}	99.1	97.5以上
	経常収支比率(%)	101.0	100.2以上
	病床利用率(%) ^{※2}	92.9	92.6以上
	平均在院日数(日) ^{※2}	10.4	10.4以下
	新規患者数(外来)(人)	88,352	86,635以上

※1 医業収支比率は運営費負担金を含まない。

※2 病床利用率，平均在院日数は感染症病床及びMPU病床を含まない。

※3 医業収支比率・経常収支比率は期間中の平均値。病床利用率，平均在院日数は期間中各年度で達成を目指す。新規患者数は入院・外来とも平成31年度目標値。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
中央市民病院	単年度資金収支(百万円)	1,317
	給与費比率(%)	44.6

	材料費比率(%)	32.0
	経費比率(%)	18.1
	運営費負担金比率(%)	7.4
	手術件数(入院・外来合計)(件)	12,500
	患者1人当たりの診療単価(入院)(円)	98,286
	患者1人当たりの診療単価(外来)(円)	20,767
	査定減率(入院)(%)	1.10
	査定減率(外来)(%)	0.20

(2) 西市民病院

- ・地域医療支援病院としての役割を果たし続けていくため、医師の確保等による診療科の強化、救急車受け入れ方針の徹底による応需率の向上、外来機能の強化に加え、地域医療機関との連携強化等による増収を図る。
- ・新たな診療報酬加算の検討等による増収、粘り強い価格交渉等による費用の削減に積極的に取り組む。
- ・効果的な経営分析や院内外に向けた情報発信の強化に努め、院内全体での経営改善に努める。

目標値

病院名	項目	平成29年度実績	目標値※ ³
	医療収支比率(%)※ ¹	99.1	94.1以上
西市民病院	経常収支比率(%)	96.1	99.8以上
	病床利用率(%)※ ²	87.9	92.9以上
	平均在院日数(日)※ ²	12.8	12.1以下
	新規患者数(入院)(人)	9,009	9,333以上
	新規患者数(外来)(人)	20,366	20,003以上

※¹ 医療収支比率は運営費負担金を含まない。

※² 病床利用率、平均在院日数は期間中各年度で達成を目指す。平均在院日数は地域包括ケア病棟を含まない。

※³ 医療収支比率・医療収支比率は期間中の平均値。新規患者数は入院・外来とも平成31年度目標値。

関連指標

病院名	項目	平成29年度 実績
西市民病院	単年度資金収支(百万円)	▲ 301
	給与費比率(%)	59.8
	材料費比率(%)	25.2
	経費比率(%)	16.4
	運営費負担金比率(%)	8.7
	手術件数(入院・外来合計)(件)	2,930
	患者1人当たりの診療単価(入院)(円)	52,759
	患者1人当たりの診療単価(外来)(円)	14,650
	査定減率(入院)(%)	0.47
	査定減率(外来)(%)	0.32

(3) 西神戸医療センター

- ・高齢化等による地域医療需要の変化に対応し、地域医療機関との連携強化、救急車の積極的な受入れによる新規患者の確保に努めるとともに、新たな診療報酬加算の取得による増収に取り組む。
- ・診療材料の採用品目見直し、価格交渉等による材料費の削減及び業務の効率化による経費の削減等に取り組む。

目標値

病院名	項目	平成29年度 実績	目標値※ ³
西神戸医療センター	医業収支比率(%)※ ¹	99.5	98.4以上
	経常収支比率(%)	103.0	101.5以上
	病床利用率(%)※ ²	89.7	92.3以上
	平均在院日数(日)※ ²	10.5	10.5以下
	新規患者数(入院)(人)※ ²	13,233	13,541以上
	新規患者数(外来)(人)※ ²	37,666	37,431以上

※1 医業収支比率は運営費負担金を含まない。

※2 病床利用率、平均在院日数、新規患者数(入院・外来)は結核病床

を含まない。

- ※3 医業収支比率・経常収支比率は期間中の平均値。病床利用率、平均在院日数は期間中各年度で達成を目指す。新規患者数は入院・外来とも平成31年度目標値。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
西神戸医療センター	単年度資金収支(百万円)	6,050
	給与費比率(%)	48.9
	材料費比率(%)	27.3
	経費比率(%)	18.5
	運営費負担金比率(%)	5.4
	手術件数(入院・外来合計)(件)	6,088
	患者1人当たりの診療単価(入院)(円)	65,777
	患者1人当たりの診療単価(外来)(円)	14,717
	査定減率(入院)(%)	0.47
	査定減率(外来)(%)	0.23

(4) 神戸アイセンター病院

- ・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術等先進医療の提供や、白内障、緑内障、網膜疾患をはじめとした質の高い標準医療の着実な提供と高度専門医療の実施により、収入を確保する。
- ・臨床研究や治験を推進するための研究資金の確保に努める。
- ・コスト管理の徹底により、費用の削減を図る。

目標値

病院名	項目	平成29年度実績	目標値※2
神戸アイセンター病院	医業収支比率(%)※1	81.5	97.9以上
	経常収支比率(%)	70.5	100.8以上
	病床利用率(%)	62.4	70.0以上
	平均在院日数(日)	4.0	3.7以下

	新規患者数（入院）（人）	568	2,070以上
	新規患者数（外来）（人）	1,512	4,120以上

※1 医業収支比率は運営費負担金を含まない。

※2 医業収支比率・経常収支比率は期間中の平均値。病床利用率、平均在院日数は期間中各年度で達成を目指す。新規患者数は入院・外来とも平成31年度目標値。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
神戸アイセンター病院	単年度資金収支(百万円)	15
	給与費比率(%)	45.3
	材料費比率(%)	30.4
	経費比率(%)	25.5
	運営費負担金比率(%)	7.5
	手術件数(入院・外来合計)(件)	745
	患者1人当たりの診療単価(入院)(円)	85,049
	患者1人当たりの診療単価(外来)(円)	17,715
	査定減率(入院)(%)	0.35
	査定減率(外来)(%)	0.15

(5) 法人本部

- ・医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、経営にかかる課題の抽出・分析を実施するなど、各病院への経営改善支援を効果的かつ効率的に行う。
- ・各病院と法人本部との適切な役割分担を行い、効率的な業務運営体制を踏まえた組織運営を行う。

目標値

(単位：%)

病院名	項目	平成29年度実績	目標値 ^{※2}
法人全体	医業収支比率 ^{※1}	97.3	97.2以上
	経常収支比率	100.4	100.5以上

※1 医業収支比率は運営費負担金を含まない。

※2 経常収支比率・医業収支比率は期間中の平均値。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
法人全体	単年度資金収支(百万円)	7,082
	運営費負担金比率(%)	7.1

2 経営基盤の強化

(1) 収入の確保及び費用の最適化

- ・新規患者数の確保や適正な在院日数に基づく病床管理に取り組むことに加えて、高度医療機器の効率的な運用を行い、確実に収入を確保する。
- ・医療を取り巻く環境の変化に迅速に対応できるよう、適時、的確な経営分析を進めるとともに、診療報酬改定にも的確かつ速やかに対応し、新たな収入の確保を図る。
- ・4病院体制のメリットを活かした調達費用の削減や、消費税増税を踏まえた費用削減への取組みなど、経費削減を徹底する。診療材料については引き続き品目の統一化や在庫の適正化等への取組みを推進する。

関連指標

病院名	項目	平成29年度実績
法人全体	未収金額(現年)(百万円)	94
	未収金額(滞納繰越)(百万円)	177
	給与費比率(%)	48.7
	材料費比率(%)	29.8
	経費比率(%)	19.4

(2) 計画的な投資の実施と効果の検証

- ・少子高齢化等の社会情勢や医療需要の変化及び医療政策の動向等を踏まえ、4病院の役割や特徴、収益性を勘案した計画的な投資を推進する。
- ・高度医療機器の更新及び整備等総合的な投資計画を策定し、状況に応じた的確な投資を行うとともにその効果を病院長が毎年度継続的に検証し、課題が検出された場合には当該課題の改善に取り組む。
- ・建物設備の経年劣化に対応するため、中長期的な視点に立った計画的な保全整備等を実施する。

第5 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画

「第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」を着実に実行することにより、運営費負担金等の交付のもと、市民病院としての役割を果たすとともに、安定的な経常収支及び資金収支の維持を図る。

1 予算（平成31年度からの5年間）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	352,407
医業収益	325,450
運営費負担金	26,064
その他営業収益	893
営業外収益	6,303
運営費負担金	1,506
その他営業外収益	4,797
臨時利益	0
運営費負担金	0
その他臨時利益	0
資本収入	12,345
運営費負担金	775
運営費交付金	0
長期借入金	11,500
その他資本収入	70
その他の収入	0
計	371,055
支出	
営業費用	329,628
医業費用	325,837
給与費	150,129
材料費	104,175

経費	68,133
研究研修費	3,400
一般管理費	3,791
給与費	2,017
経費	1,677
研究研修費	97
営業外費用	3,552
臨時損失	0
資本支出	34,130
建設改良費	13,301
償還金	20,275
その他の資本支出	554
その他の支出	0
計	367,310

※ 期間中の給与改定及び物価の変動等は0%と試算している。

[人件費の見積もり]

期間中総額 152,146百万円を支出する。

なお、当該金額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、時間外勤務手当及び休職者給与の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出。

建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金等とする。

ただし、用地取得に係る建設改良費及び長期借入金元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。

2 収支計画（平成31年度からの5年間） （単位：百万円）

区 分	金 額
-----	-----

収入の部	
営業収益	352,290
医業収益	324,477
運営費負担金収益	26,064
補助金等収益	607
寄付金収益	286
資産見返運営費負担金戻入	0
資産見返運営費交付金戻入	342
資産見返補助金戻入	20
資産見返寄付金戻入	45
資産見返物品受贈額戻入	449
営業外収益	6,002
運営費負担金収益	1,506
その他営業外収益	4,496
臨時利益	0
運営費負担金収益	0
その他臨時利益	0
支出の部	
営業費用	337,088
医業費用	333,724
給与費	151,812
材料費	94,857
経費	62,564
減価償却費	21,329
研究研修費	3,162
一般管理費	3,364
給与費	1,955
経費	1,180
減価償却費	139

研究研修費	90
営業外費用	19,454
財務費用	3,302
控除対象外消費税償却	1,146
営業外雑支出	15,006
臨時損失	10
純利益	1,740
目的積立金取崩額	0
総利益	1,740

※ 期間中の給与改定及び物価の変動等は0%と試算している。

3 資金計画（平成31年度からの5年間）（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	
業務活動による収入	358,780
診療業務による収入	325,450
運営費負担金による収入	27,570
その他の業務活動による収入	5,760
投資活動による収入	775
運営費負担金による収入	775
運営費交付金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	11,500
長期借入れによる収入	11,500
その他の財務活動による収入	0
前期中期目標の期間よりの繰越金	20,973
資金支出	
業務活動による支出	333,692
給与費支出	152,146

材料費支出	104,175
その他の業務活動による支出	77,371
投資活動による支出	13,343
有形固定資産の取得による支出	12,374
無形固定資産の取得による支出	927
その他の投資活動による支出	42
財務活動による支出	20,275
長期借入金の返済による支出	18,678
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,597
その他の財務活動による支出	0
次期中期目標の期間への繰越金	24,718

※ 期間中の給与改定及び物価の変動等は0%と試算している。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額 10,000百万円

2 想定される短期借入金の発生理由

- (1) 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応
- (2) 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備・修繕，医療機器の購入，人材育成及び能力開発の充実等に充てる。

第9 料金に関する事項

1 料金

病院の診療料及びその他の諸料金（以下「診療料等」という。）は次に定める額とする。

- (1) 健康保険法（大正11年法律第70号），高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）及びその他の法令等により診療を受ける者（健康保険法第76条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。），高齢者

の医療の確保に関する法律第71条第1項及びその他の法令等の規定に基づき算定する額

(2) (1)に規定する以外の者であって、次の①から③までに掲げる者については、当該各号の区分に応じ定める額とする。

- ① 労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号)第13条の規定により診療を受ける者 兵庫労働局長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額
- ② 地方公務員災害補償法(昭和42年法律第121号)第26条の規定により診療を受ける者 地方公務員災害補償基金支部長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額
- ③ 自動車損害賠償保障法(昭和30年法律第97号)の規定による損害賠償の対象となる治療を受ける者、分娩する者及びその他理事長が別に定める者 理事長が別に定める額

(3) 前2号以外の額については、以下の表に規定する額とする。

	種別	金額	摘要	
病室使用 加算額	中央市民病院	特室	1人1日につき 3万円	面積が約27～30㎡の個室
		個室A	1人1日につき 1万5,000円	面積が約20～26㎡の個室
		個室B	1人1日につき 1万1,000円	面積が約15～18㎡の個室
		個室C	1人1日につき 9,000円	
	西市民病院	特室	1人1日につき 2万4,000円	面積が約28㎡の個室
		個室A	1人1日につき 1万1,000円	面積が約14㎡の個室
		個室B	1人1日につき 9,000円	
	西神戸医療センター	個室A	1人1日につき 1万4,000円	面積が約17㎡の個室
		個室B	1人1日につき 1万円	面積が約15㎡の個室
		2人個室	1人1日につき 9,000円	
		産科個室A	1人1日につき 1万4,000円	面積が約17㎡の個室

		産科個室 B	1人1日につき 1万円	面積が約15㎡の 個室
	タ 神 戸 病 院 ア イ セ ン	個室A	1人1日につき 1万5,000円	面積が約22㎡の 個室
		個室B	1人1日につき 1万1,000円	面積が約18㎡の 個室
		個室C	1人1日につき 9,000円	
分娩料			1児につき 10万5,000円	時間外は20パー セント増し、深 夜は40パーセン ト増しとする。

備考

- 1 本市に住所を有しない者に係る料金の額は、この表に規定する額の30パーセント増しとする。
 - 2 この表において「時間外」とは、休日（就業規則に規定する休日という。以下同じ。）以外の日にあつては午前6時から午前9時まで及び午後5時から午後10時までを、休日にあつては午前6時から午後10時までをいう。
 - 3 この表において「深夜」とは、午後10時後から翌日午前6時前までをいう。
 - 4 病室使用加算額については、この表の金額をそれぞれ超えない範囲内で理事長が定める額とする。ただし、料金を変更する場合は事前に市民等に周知し透明性を確保する。
 - 5 病室使用加算額については、2人用の病室を使用者の申出により理事長が病院の管理上特に支障がないと認めて1人で使用することを許可した場合は、100パーセント増しとする。
- (4) 前3号に規定がないものについては、実費等を勘案し別に理事長の定める額とする。また、消費税法（昭和63年法律第108号）第6条の規定により非課税とされるものを除く診療料等については、それぞれ当該各号により算定した額に消費税及び地方消費税に相当する額を加えた額（その額に1円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てた額）とする。

2 料金の減免

理事長が、特別の事情があると認めるときは、診療料等の全部又は一部を減免することができるものとする。

第10 地方独立行政法人神戸市民病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（平成31年度からの5年間）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	総額 13,301	神戸市長期借入金等

※1 金額については見込みである。

※2 各事業年度の神戸市長期借入金等の具体的な内容については、各事業年度の予算編成過程において決定される。

2 人事に関する計画

- ・多様な働き方を選択できる労働環境を整備し、職員一人ひとりがより良い将来の展望を持てるよう、働き方の改革に取り組むとともに、優れた専門職の確保と人材育成に努める。
- ・医療を取り巻く状況の変化への対応、医療の質向上や医療安全の確保、患者サービス向上等に十分配慮した上で、業務量や業務内容に応じた人員配置や多様な雇用形態の活用等により効率的かつ効果的な体制及び組織を構築する。

3 中期目標の期間を超える債務負担

(1) 移行前地方債償還債務（単位：百万円）

	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額
移行前地方債償還債務	1,597	3,058	4,655

(2) 長期借入金（単位：百万円）

	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額
長期借入金償還額	18,678	43,344	62,022

(3) 新中央市民病院整備運営事業（単位：百万円）

項目	事業期間	中期目標期間事業費	次期以降事業費	総事業費
新中央市民病院 整備運営事業	2019(平成31)年度 ～ 2040年度 (22年間)	17,080	57,610	74,690

4 積立金の処分に関する計画

前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設の整備，修繕，医療機器の購入，人材育成及び能力開発の充実等に充てる。